

庄内町立図書館だより

よめっちゃ

(本をたくさん

「読んでね」との願いを込めて)

2018.2.28(No.31)



3月のピックアップ



「より使いやすい図書館をめざして」ホール模様替え
ご感想お待ちしております 施設 2/6(火)～

まだまだ人気続く 芥川賞・直木賞受賞作品
ご予約受付中です! 文芸 2/28(水)～

「レッツクッキング!」
絵本の中のおいしいひなまつり」開催
お料理を通して絵本に親しもう! イベント 3/3(土)

「ちょっとおもしろい古本まつり」開催
特集下記ページ イベント 3/17(土).18(日)

古本まつり リサイクルの為、古本差し上げ

恒例 図書館リサイクル本頒布会

3月17日(土)～18日(日)

午前9時～午後5時

場所

内藤秀因
水彩画記念館 展示室

初開催 ひと箱古本市

3月18日(日)

午前9時～正午

記念館は町立図書館の併設施設です。
図書館よりお入りください。

リサイクル本は

おひとり **15冊** まで **無料** で提供します

! 善意の提供本です。
リサイクルショップなどへの転売はご遠慮ください。

古本を出品してくれる方募集中

価値ある本たちに第2の人生(本生)を!

詳しいチラシがございます

図書館HPをご覧ください

図書館へお問い合わせください



図書館カレンダー

★開館時間★

平日 午前9:00～午後6:00

土日 午前9:00～午後5:00

※4月より、平日の開館時間が午後7時までとなります

⇒休館日

⇒10冊貸出

3月

日	月	火	水	木	金	土
よめっちゃ休刊いたします				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	よめっちゃリニューアル刊行!				

○⇒おはなしらんど 楽しいおはなし会♪

時間 10時から

場所 図書館ホール

お申込み不要!お気軽にご参加ください



ブックガイド

新たな一歩を踏み出した
あなたへ贈る

田中慎哉『孤独論』(徳間書店)

吉野源三郎『君たちはどう生きるか』(マガジンハウス)

住野よる『か「」く「」し「」ご「」と「』(新潮社) 他

注目の絵本賞



第10回 MOE 絵本屋さん大賞

ヨシタケ シンスケ『なつみはなんにでもなれる』

(ブロンズ新社)

柴田ケイコ『おいしそうなしろくま』(PHP研究所)

minchi『いつさいはん』(岩崎書店) 他

カウンター前に特集展示コーナーがあります!

お問い合わせ 図書館・内藤秀因水彩画記念館

43-3039

分館 56-3308

図書館HP→<http://www.town.shonai.lg.jp/library/>



今月の(お)す(す)め ごちそうの本

『おじいちゃんとパン』 たな／え・ぶん (パイ インターナショナル) 2017年MOE絵本屋さん大賞受賞作



あなたは、食パン(トースト)を食べる時、何を塗るのがお好きですか。定番のバターとイチゴジャム、たまにはマーマレードかな。絵本の中のおじいちゃんのトーストはいつもきまって甘いパンなのだが、トーストしたパンの上ののるジャムやきな粉をふりかけたあんなの絵を見ていると無性に食べたくなくなる。

孫と一緒にパンを食べているおじいちゃんは、ページを開くごとに老いていき、孫は次第に大きく成長していく。社会人になった孫がぼつんとたたずむページを開くと、おじいちゃんの姿がこつぜんと消えてしまう。



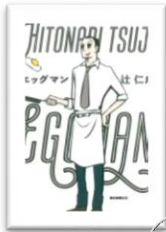
もしかしたら……。

続きは、この絵本を手にとってお確かめください。お茶目なおじいちゃんにくすつと笑ってしまうかも。

『エッグマン』辻 仁成／著 (朝日新聞出版)

小説の中に「食」の場面を描く第一人者として知られるのは、やはりかの池波正太郎氏か。私的には、山本一力氏がいちおしである。江戸の本店で供されるお茶や羊羹、市井の一膳めしやのくだりを読んで、お腹を空かせている。

そんな食いしん坊の私が、最近無性にお腹の虫がなったのがこの本。著者本人と主人公がオーバーラップする、優しくセンスのいい1冊。『50代のロッカーが毎朝せつせとお弁当作ってるってかっこ悪いことかもしれないけれど』なるレシピ本まで出している辻氏。作中に登場する卵料理が全体をふんわりと包み込み、不器用な人生も案外悪くはない、というメッセージが伝わってくる。



図書館では、レシピ本はもちろん、おいしい“ごちそう絵本”や食指が動く時代小説、現代小説・随筆等々数多く取り揃えてお待ちしています。本を通しての「食の散歩道」、是非お楽しみあれ!



『きつね森の山男』 馬場のぼる／著 (こぐま社)



みなさんはご馳走というとどんな料理を思い浮かべるでしょうか。私はふるふき大根です。しかし果たしてふるふき大根がご馳走と言えるのか…? 自分でも首を傾げながら、ふるふき大根が一国のお殿様と一山のきつねたちを救う、この昔ながらの名作をおすすめしたいと思います。

そうは言いつつも、実を言えば幼い頃に読んでいたっきりで、今回改めて手に取るまで肝心の物語は全く覚えておらず、たしか「11ぴきのねこ」シリーズだった気がする…といういい加減な記憶しかなく(同じ作者ですが違う作品です)、ただただふるふき大根の記憶だけが鮮明に残っていたのです。今でも食卓に上がるたびにこの絵本を思い出します。

幼い頃に読んだ絵本のふるふき大根が、私という1人の人間の原風景にまでしみこんでしまったのです。そういえば初めてふるふき大根を食べたのも、これを読んで祖母にせがんだのだったなあ、と思い至ると何とも感慨深い…絵本が与える恐るべき影響力を魅力にも感じ、皆さんにもぜひ、昔に読んでいた絵本を手にとってほしいと感じています。



『残るは食欲』阿川佐和子／著 (マガジンハウス)



最初に阿川氏のエッセイに触れたきっかけは、女優・檀ふみ氏(NHK「連想ゲーム」)での博識ぶり、頭の回転の良さ、言い当てた時に浮かべる笑顔の爽やかさに、「なんて気品のある人だろう」と憧れたものでした…との往復エッセイ。

おふたりとも知的で軽妙、そして食べることの大好きさがヒシヒシと伝わり、

私自身、頭や心が疲れて、食欲もない時に、「こんな時こそまず食べないと」と鼓舞させることができた(量や偏り等に問題があったのか、代謝が下がる、太り易い、疲れ易い体に…。当館、“ダイエット”関連本も多々ございます。私も含め、ご検討中の方の一助となれば幸いです)私は、書名(こちらは檀氏の呟き「愛欲と物欲を捨てた今、自分と俗世を結ぶ唯一の絆は食欲のみ」より命名。…檀氏のイメージが★)が、そこそこのリアリティさで迫り思わず選書。

ライトな読み口ながら、清々しく潔い文面。バリエーション豊富な食べ物の数々。疲れの壁が打ち破られる様な解放感を味わえます。



~~ダイエット~~

楽しいだけじゃない…これから忙しい日々を過ごす方もきつといらっしやいますね。余裕がない時ほど、ひと息ついてみるのも1つの手なのじゃないかなあと思います。図書館かでは本を通して頑張るみなさんを応援します。